

令和5年度「学校・家庭・地域連携協働推進事業」で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定(実績値と達成度)

市町村名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために 本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現状の 数値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
真室川町	①学校運営上の 課題	教職員の時間外勤 務の是正	町内の教員の25%超が、月45 時間以上の時間外勤務を行っ ており、教員の業務負担軽減に よる時間外勤務の縮減が課題 となっている。	・各小中学校への地域学校協働コー ディネーター配置を継続する。 ・校内での役割分担を精査し、校外との 連絡調整業務をコーディネーターが中 心的に担うことができる体制を構築す る。	学校・家庭・地域の役割分担が 明確化することで、地域との協働 が推進され、教職員の業務負担 が軽減される。	月45時間以上の時間外勤務 を行う教員の割合	27	%	20	33	2 ・小学校においては、3分の2以上が超過勤務月45時間を下回り、 時間外勤務の軽減が図られているが、中学校では、昨年に比べて も部活動の時間(休日勤務等)が加味されたため、現状の数値以 上に本年度の実績値が上回っている。 ・部活動に係る課題には時間が要されるが、常駐配置している コーディネーターと情報共有する中で、教職員がコーディネーター に任せられる校務が散見されるため、そうした校務を集約し、コー ディネーターが担うことで軽減につなげたい。
真室川町	②学校と地域の 課題	学校支援ボランティ アの確保・育成	各校の運営支援に携わってい る地域ボランティアについて、 高齢化や少子化に伴うPTAの 減少等により確保、継続が難し くなっている。	・現状ご協力いただいている地域ボラン ティアの活動継続を図りながら、次世代 の人材発掘を進めていく。 ・学校ごとの名簿を共有するなど、学校 区を超え、町全体の地域ボランティアと して活動できる環境を整備する。	減少しつつある地域ボランティア の人数確保と、それに伴う学校 運営への支援体制構築	各学校へご協力いただいた 地域ボランティアの人数	621	人	650	804	4 ・町内各地区に読み聞かせを行うサークルが存在しており、各校 全てにおいて、定期的にサークルの方々による読み聞かせの授 業を取り入れている。 ・地域の資源や特色を積極的に学校活動に取り入れていることに より、地域の方が学校に携わる機会が増えている。 ・さらに、地域に開かれた学校を目指し、地域の方々が活躍できる 環境づくりを行っていく。
真室川町	③学校と家庭の 課題	読書習慣の定着・読 書体験の充実	デジタル環境の普及に伴い、児 童生徒の読書習慣が減少して いる。	・各校に配置された地域コーディネ ーターを中心に、図書環境整備を充実さ せる。	子どもたちが読書に興味・関心を 持ちやすい環境を整備すること で、日常的な読書習慣が身につ く。	各校図書室における児童生 徒一人あたりの年間図書貸 出冊数	72	冊	80	55	2 ・図書の紹介や配置を工夫し、児童生徒に図書を身近に感じられ る環境づくりを行っているが、中学校においては生徒の関心が減 退傾向にある。 ・小学校には図書管理システムが導入されており、図書室を活用 しやすい環境にあるが、中学校への導入が令和6年度となるた め、環境の整備により読書量の増加に期待したい。

達成度（5段階の自己評価）

5...本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した

4...本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた

3...本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた

2...本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる

1...本年度の目標値を大きく下回り、取組の抜本的な見直しが求められる